※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	(学)実践世界史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版社）						
副教材等	「最新世界史図説　タペストリー　二十三訂版」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去の出来事を現代の課題と結びつけ,自らの思考や行動を考える「歴史実践」の姿勢を身につける。
・過去と現在のつながりを読み解くことで,複雑な現代社会を生き抜くための歴史的視座を持つ。
・既習事項を土台に変化の激しい時代に必要な歴史的思考力を磨く。

2　学習の到達目標

(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古代から現代に至る世界の地域の多様性や歴史的解釈に関する知識を、史料の読解等の問題演習で深める。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史の変化に関わる諸現象について理解し、より良い社会の実現を視野に、課題を主体的に追求・解決する態度を、史料の読解・映像資料の視聴・文献の精読等を通して養成する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	中国史	・中国の古代文明～清代の中国と隣接諸地域までをテーマとし、正誤問題・史料読解等の問題演習を行う。	a:各時代の王朝の変化・特徴を理解している。 b:世界との関わりのなかで、中華世界の変容や周辺諸国への影響ついて、同時期の他国との関連や比較を行い、考察・説明ができる。 c:中国の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	インド史	・南アジアの古代文明～ムガル帝国の興隆までをテーマとし、正誤問題・史料読解等の問題演習を行う。	a:　各時代の王朝の変化・特徴を理解している。 b:世界との関わりのなかで、インドや周辺諸国との関連について、同時期の他国との関連や比較を行い、考察・説明ができる。 c:インドの歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
二学期	イスラーム史	・古代オリエント文明～オスマン帝国とサファヴィー朝までをテーマとし、正誤問題・史料読解等の問題演習を行う。	a:各時代の王朝の変化・特徴を理解している。 b:世界との関わりのなかで、イスラーム世界の変容や周辺諸国への影響ついて、同時期の他国との関連や比較を行い、考察・説明ができる。 c:イスラーム世界の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	ヨーロッパ史	・ギリシア人の都市国家～欧米における国民国家の形成までをテーマとし、正誤問題・史料読解等の問題演習を行う。	a:各時代の諸地域の変化・特徴を理解している。 b:世界との関わりのなかで、ヨーロッパ世界の変容や周辺諸国への影響・進出ついて、同時期の他国との関連や比較を行い、考察・説明ができる。 c:欧米の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
三学期	現代史	・帝国主義～現在までをテーマとし、正誤問題・史料読解等の問題演習を行う。 ・映像資料の視聴・文献の精読を通して、現代の諸課題について考える。	a：２つの世界大戦や冷戦体制の構築など諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどを理解している。 b： 国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c： 国際社会はどのような課題に直面し，また歴史的な問題が影響を与えているのかについて考察し，文章にまとめている。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度